

## 小児の養育における父親の役割について

(分担研究：小児の健康と養育条件に関する研究)

高橋種昭\* 高野 陽\*\* 小宮山要\*\*\*

窪 龍子\*\*\*\* 丹羽勝子

**要約** 最近父親が育児に果す役割は急激に増大している。しかし、父親がどのような形でその役割を果たせばよいか、については明らかにされていない。本研究はそうした混乱期にある子どもの養育に父親が果すべき役割について明らかにすることを目的としたものである。

今年度は、妊娠中の時期の父母に対する質問紙調査と、男女大学生に対する質問紙調査を実施すると同時に、幼稚園児をもつ父親に対する質問紙調査を計画し、その一部を実施した。

妊娠中の時期の天婦に対する調査は、父親となる男性がどのような気持と意識で、妊娠という事実を受とめているか、を明らかにしようとするものであり、男女大学生を対象とした調査は、子どもの頃の父子関係が、現在の父親に対するイメージにどのように影響しているか、を明らかにしようとするものである。又、幼稚園児の父親に対する調査は、父親の育児への参加が子どもの行動傾向にどのように関連をもつかをみようとするものである。

現在までに判明した事は、子どもの親になる、という事に対する意識には、夫と妻の間に大きな違いがある事と、現在の青年達の子どもの頃には、父親との接触が少なく、父親への期待も現在のよりに大きいものではなかった、という事である。

**見出し語：**父子関係、養育役割

**研究目的** 父親が家庭において果す役割は、現在では非常に多様化しており、従来のように母親との間の役割分担における区別は、はっきりした形ではつけ難くなっている。役割分担における多様化は、同時に役割分担の混乱をもたらすし、そのものへの期待と遂行との間に、大きなずれがみられる例も増加している。その事は、子どもの養育にも必ずしもよい結果をもたらすものではなく、子どもの情緒安定を乱したり、社会化の歪みをもたらす事は、保健指導や児童相談における多くの事例が示す通りである。やはり、各家庭において子どもの養育に関する両親の役割分担が確立され、その円滑な遂行が可

能になって、子どもの健全育成もはじめて成就されるのである。

今回の研究も、そうした現在混乱している家庭における子どもの養育に関する両親の役割を、中心にして明確にすると共に、その望ましい姿についての提言を行う事を目的としたものである。父親の果す役割は、当然の事ながら子どもの発達との関わりの中で変化するものであり、父子関係自体も発達するものとして捉える事が可能である。したがって父親の役割というものは、あくまでも縦断的に、発達の過程の中で捉える事が必要であり一時期の関係の中だけで、その在り方を云々する事はできぬはずである。

\* 日本女子大学家政学部 (Faculty of Home Economics, Japan Women's University)

\*\* 国立公衆衛生院 (The Institute of Public Health)

\*\*\* 桜美林短期大学 (Obilin Junior College)

\*\*\*\* 和泉短期大学 (Izumi Junior College)

同時に、父親と子どもとの関係を規制する要因には様々のものがあり、父子関係というものは常にそうした諸要因との力動的な関連の中でとらえられねばならぬものである。

**方法** 今回の研究においては、目的の所で述べた父親が子どもの養育に果たす役割の明確化とその在り方を知る為に、次の3つの方法による調査を計画し、その一部を実施した。

**調査 I**

調査 I は、父子関係と父性の発達を縦断的に捉える事を目的としたものであり、妻の妊娠期から、乳幼児期までの間の父親の意識や生活についてみようとするものである。

今年度はその第一段階として、現在妻が妊娠

してマタニティスクールに通っている36組の夫婦を対象にして、質問紙によって妻の出産を迎えるに当たって、夫がどのような意識をもっているかに関する調査を行った。調査の対象とした夫婦は、民間団体が主催するマタニティスクールに通っている夫婦であり、夫の平均年齢は29.5才、妻の平均年齢は27.3才で、皆初産の事例である。

**調査 II**

調査 II は両親予備群である男女大学生を対象にした調査であり、学童期における父子関係と現在の父親像との関連を知る事を目的としたものである。

調査項目は次の如きものである。

問1 あなたが小学生の頃父親はどの程度育児に関わっていましたか。アイウエのいずれかを○で囲んでください。

	いつも	時々	たまに	全然なし
1 一緒に夕食をとった	ア	イ	ウ	エ
2 一緒に遊んでくれた	ア	イ	ウ	エ
3 宿題など勉強をみてくれた	ア	イ	ウ	エ
4 休日には家族と外出した	ア	イ	ウ	エ
5 一緒に家の仕事をした	ア	イ	ウ	エ
6 悪いことをすると叱られた	ア	イ	ウ	エ
7 食事を作ってくれた	ア	イ	ウ	エ
8 テレビや漫画の見方を注意された	ア	イ	ウ	エ
9 P T Aや授業参観などに出席した	ア	イ	ウ	エ
10 困ったときに相談にのってくれた	ア	イ	ウ	エ

問2 あなたは小学生の頃父親に対してどのような気持ちをもっていましたか。アイウエのいずれかを○で囲んでください。

	そう男った	あまりそう 思わなかった	全くそう思 わなかった	わからない
1 父親はあなたのことを理解してくれていた	ア	イ	ウ	エ
2 父親に心配をかけたくなかった	ア	イ	ウ	エ
3 働いている父親を偉いと思った	ア	イ	ウ	エ
4 父親には何でも話せた	ア	イ	ウ	エ
5 父親が家にいるとほっとした	ア	イ	ウ	エ
6 困ったとき父親は頼りになる感じだった	ア	イ	ウ	エ
7 父親がそばにいと緊張した	ア	イ	ウ	エ

問3 現在あなたからみて父親はどんな人ですか。アイウのいずれかを○で囲んでください。

	その通り	どちらとも いえない	そうでは ない		その通り	どちらとも いえない	そうでは ない
1 明るい	ア	イ	ウ	13 楽天家	ア	イ	ウ
2 厳しい	ア	イ	ウ	14 いばっている	ア	イ	ウ
3 やさしい	ア	イ	ウ	15 頼りになる	ア	イ	ウ
4 頑固	ア	イ	ウ	16 尊敬できる	ア	イ	ウ
5 強い	ア	イ	ウ	17 人情にあつい	ア	イ	ウ
6 おおらか	ア	イ	ウ	18 頭がよい	ア	イ	ウ
7 自己中心的	ア	イ	ウ	19 真面目	ア	イ	ウ
8 口うるさい	ア	イ	ウ	20 男らしい	ア	イ	ウ
9 だらしない	ア	イ	ウ	21 仕事熱心	ア	イ	ウ
10 努力家	ア	イ	ウ	22 相談しやすい	ア	イ	ウ
11 家族思い	ア	イ	ウ	23 ものわかりがよい	ア	イ	ウ
12 教育熱心	ア	イ	ウ	24 ユーモアがある	ア	イ	ウ

問4 次の事柄についてあなたは小学生の頃父親にやってもらいたかったですか。アイウエのいずれかを○で囲んでください。

	非常に望んでいた	かなり望んでいた	あまり望んでいなかった	全然望んでいなかった
1 一緒に夕食をとる	ア	イ	ウ	エ
2 一緒に遊んでくれる	ア	イ	ウ	エ
3 宿題など勉強をみてくれる	ア	イ	ウ	エ
4 休日は家族と外出する	ア	イ	ウ	エ
5 食事を作ってくれる	ア	イ	ウ	エ
6 困ったときに相談に乗ってくれる	ア	イ	ウ	エ
7 P T Aや授業参観に出席してくれる	ア	イ	ウ	エ
8 社会の仕組みを教えてください	ア	イ	ウ	エ
9 礼儀や習慣などを教えてください	ア	イ	ウ	エ
10 本や玩具を買ってくれる	ア	イ	ウ	エ

問5 次の事柄について小学生の子どもを持つ父親はどの程度やるべきだと思いますか。アイウエのいずれかを○で囲んでください。

	父親がやるべき	どちらかといえば父親がやるべき	父親はあまりやらなくてもよい	父親はやらなくてもよい
1 一緒に夕食をとる	ア	イ	ウ	エ
2 一緒に遊ぶ	ア	イ	ウ	エ
3 宿題など勉強をみる	ア	イ	ウ	エ
4 休日には家族と外出する	ア	イ	ウ	エ
5 食事を作る	ア	イ	ウ	エ
6 困ったときに相談ののってやる	ア	イ	ウ	エ
7 P T Aや授業参観に出席する	ア	イ	ウ	エ
8 社会の仕組みを教える	ア	イ	ウ	エ
9 礼儀や習慣などを教える	ア	イ	ウ	エ
10 本が玩具などを買って与える	ア	イ	ウ	エ

現在都内の3大学の男女学生277名に対して調査を実施し、更に約700名の学生に調査を依頼中である。

調査Ⅲ

調査Ⅲは、幼稚園児をもつ父親の家庭における育児参加状況や子どもとの親和度が、子どもの幼稚園における行動傾向をどのように影響するか、をみようとするものである。質問項目は、日常の家庭における父親の育児参加についての20項目と、父親に対する子どもの親和度に関する10項目、母親の夫の養育態度に関する満足度に関する8項目からなっており、幼稚園における子どもの行動評価は、積極性、自立状態など13項目について担任教師の5段階評定が可能なものを作成した。

調査結果

調査Ⅰについて

36組の夫婦を対象に行った質問紙調査の結果は、表1～表4に示す如くであるが、その意識

には、夫婦の間に大きな違いがみられた。

表1は子どもが生まれる前と後とではあなたの生活はどう変化すると思うかについてきた結果である。夫の場合は責任が重くなる事を予想するものが非常に多い。つまり、夫婦2人の生活と異なり、子どもが加わった家庭には、今以上に大きな責任を感じるようになる事を夫の多くは予想しているわけである。

表1 予想される生活の変化

答	父母別	父親	母親
イ 責任が重くなる		17	0
ロ 生活時間の変化		19	19
ハ 生活の負担が重くなる		4	5
ニ 家庭生活が充実する		3	4
ホ 生活意欲が旺盛になる		2	1
ヘ 子ども中心の生活になる		3	17
ト 夫婦生活の変化		3	4
チ 自分自身の生活が圧迫される		6	28
リ 家事・育児に参加するようになる		12	0
ヌ その他		6	8

表2 子どもが生まれても変えたくないもの

答	父母別	
	父親	母親
イ 生活のリズム	5	0
ロ 自分の生活の確保	5	6
ハ 夫婦の生活	3	17
ニ 若さの確保	1	1
ホ その他	3	5

表3 育児に関する情報源として頼りになると思えるもの(妻の質問・複数解答)

情報源	出産形態				計
	里帰り	産後里帰り	母親が来る	二人で頑張る	
自分の母親	14	5	3	1	23
夫の母親	3	3	2	0	8
祖母	0	0	0	0	0
姉妹	4	0	3	1	8
友人	13	3	3	4	23
夫	6	1	0	2	9
育児書	4	0	3	0	7
育児雑誌	9	3	4	2	18
自分の判断	2	1	2	1	6
その他	2	0	1	1	4

○その他(保健婦・医師・助産婦)

表4 育児についての夫婦の話し合いの有無

夫婦の話し合い	出産形態				計
	里帰り	産後里帰り	母親が来る	二人で頑張る	
よく話し合っている	4	3	1	0	8
時々話し合っている	13	3	5	2	23
全然話し合っていない	1	0	1	0	2
その他	1	0	0	2	3

○その他(相手にしてくれない。妻が一方的に話し、夫が頷くのみ。)

又、生活時間の変化を予想するものも多いが、この場合、帰宅時間が早くなる事を予想する夫が過半数を占め、睡眠時間が短くなる事を予想するものが圧倒的に多い妻の反応とは非常に

違いがみられる。これは子どもの生活や家事への参加が多くなる事を予想してのものと考えられるが、一刻でも早く帰宅して子どもの顔を見たいという父親としての愛情の芽生えを表わしているとみる事も可能であろう。その他では、自分自身の生活が圧迫され、今までのような自由な行動がとれなくなる事を予想する夫も数名みられるが、この数は妻の場合に比べると格段に少なく、妻の場合は殆んどのが自分自身の生活が失われる事への不満に似た気持を表わしている。育児や家事への参加については、1/2の夫がその事を予想しているが、この数を多とみるか少ないとみるかは難しいところである。

表2は子どもが産まれても変えたくないものをきいた結果であるが、この場合も夫と妻との間には大きな違いがみられる。妻の場合は夫婦の関係を今まで同様に大事にしたいというものが非常に多いが、夫ではその事を強調するものはごく僅かである。むしろ、自分の生活のリズムを含めて、自分自身の生活を変えたくない、とするものが多い。当然その中には、仕事に対して従来通りの対応をしたいという願いもこめられている。

以上表1と表2の結果からみても、夫の場合、妻のように子どもの誕生を、子どもという世話なしでは生きられない一人の人間と、今までとは質の異なる人間関係を結んでゆくのだという問題意識を必ずしもたず、家族に対する責任が重くなるという表現に代表されるように、今までも家族に対して責任があったが、これからは更に責任が重くなると、子どもの誕生を意識の上での量的変化として捉えている傾向がみられるわけである。又、表2の結果からみても、子どもの誕生と夫婦関係の変化というものを、夫の場合妻のように深刻に受とめていない事も大きな違いであろう。

表3は夫が育児の情報源としてどれだけ貢献しているか、をきいてみたものであるが、表の結果が示す如く、夫はあまり情報源としては機能しておらず、妻はやはり自分の母親や友人、育児雑誌などに、その情報を求めている。

表4の、育児について夫婦で話し合う機会がどの程度あるか、についてきいてみた結果から

は、妊娠の時期においては、その次の段階の育児についてはあまり積極的な話し合いは行われていない事が判るが、出産後この数字がどう変わるかみてゆきたい。

#### 調査Ⅱについて

調査Ⅱは現在まだ調査の一部しか実施しておらず、男子の数が少なく、中間報告的なものである。

学童期における父親の育児への関与については、一緒に遊ぶ機会や勉強をみてもらった機会などを多いとするものは少なく、家族との外出にしても同様である。PTAや授業参観にしても約2・3割の父親が参加しているに過ぎない(表5)。

学童期における父親に対する認知にしても、そのものを身近かな、親しみ易い、理解のある存在としてとらえていた学生は少なく、働く父親を偉いと思ったとか、頼りにする存在だったと、むしろ従来から云われていた父親像と変らぬイメージをもっていたものが多い。そして、話し難い、無理解な父親だったとするものが多いが目立つ(表6)。その事は、父親に対する期待にも表われており、父親の育児教育に対する参加を学童期においてはあまり期待していなかったとするものが多い。勉強の指導にしても、相談相手にしても、PTAなどの出席にしてもみな同じように、そのものを望んでいた学生は少ない。学童期に父親に望んでいたものは、玩具を買ってくれる、林日に家族と外出するなどである(表7)。

大学生が現在もっている父親像は、やさしい、家族思い、頼りになる、仕事熱心、努力家など

であり、一家の中心としての父親の役割が強調されている(表8)。

又、学童期の子どもをもつ父親に対して、どのような役割遂行を現在の大学生達は期待しているかという点と、自分達の学童期にもっていた期待とは大分異なり、夕食を家族ととる、一緒に遊ぶ、社会の仕組みを教えてくれる、というように、家族というものを大切にしてくれる父親を期待している傾向がみられる(表9)。

今年度の調査は、まだ中途の段階にあり、ケース数も少ない為、くわしい分析はできなかったため、次年度は更に数を加え、学童期の父子関係がどのような形で青年期の父親像の形成に関連しているかについて分析を進めてゆく予定である。

#### 調査Ⅲについて

調査Ⅲについては、現在質問紙と行動評価表を作成し、調査を依頼中である。プリテスト的に行った調査の結果では、父親の育児参加度と子どもの行動傾向との間には関連がみられたので、本調査においても、はっきりした相関が示される事が予想される。

今年度の調査結果からは、父親というものの存在が、母親とはやはり非常に異なる存在として捉えられた。その役割分担においても、あるいは役割期待においても、父親はあくまでも父親であり、母親との間には一線を画する存在である事が確認された。次年度は更に調査対象を拡げると共に、面接法なども取入れ、よりインテンシブに、よりくわしい分析を行い、父親というものが小児の養育に果たす役割について明らかにしてゆきたい。

表5 父親の育児参加—学童期における

(%)

答	いつも			時々			たまに			全々なし			N. A.			合計		
	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計
一緒に夕食をとった	10 (41.7)	140 (55.6)	150 (54.3)	9 (37.5)	86 (34.1)	95 (34.4)	4 (16.7)	24 (9.5)	28 (10.1)	1 (4.2)	2 (0.8)	3 (1.1)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
一緒に遊んでくれた	1 (4.2)	27 (10.8)	28 (10.2)	8 (33.3)	131 (52.2)	139 (50.5)	12 (50.0)	76 (30.3)	88 (32.0)	3 (12.5)	17 (6.8)	20 (7.3)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
宿題など勉強をみてくれた	4 (8.3)	17 (6.8)	18 (6.6)	4 (17.4)	58 (23.1)	62 (22.6)	8 (34.8)	103 (41.0)	111 (40.5)	10 (43.5)	73 (29.1)	83 (30.3)	1	2	3	24 (100)	253 (100)	277 (100)
休日には家族と外出した	2 (8.3)	33 (13.1)	35 (12.7)	6 (25.0)	114 (45.4)	120 (43.6)	15 (62.5)	90 (35.9)	105 (38.2)	1 (4.2)	14 (5.6)	15 (5.5)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
一緒に家の仕事をした	1 (4.2)	21 (8.3)	22 (8.0)	9 (37.5)	90 (35.7)	99 (37.5)	9 (37.5)	102 (40.5)	111 (40.2)	5 (20.8)	39 (15.5)	44 (15.9)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
悪いことをすると叱られた	8 (33.3)	81 (32.1)	89 (32.2)	5 (20.8)	83 (32.9)	88 (31.9)	2 (29.2)	59 (23.4)	66 (23.9)	4 (16.7)	29 (11.5)	33 (12.0)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
食事を作ってくれた	-	6 (2.4)	6 (2.2)	3 (12.5)	44 (17.5)	47 (17.0)	7 (29.2)	96 (38.1)	103 (37.3)	14 (58.3)	106 (42.1)	120 (43.5)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
テレビや漫画の見方を注意された	1 (4.2)	25 (10.0)	26 (9.5)	9 (37.5)	54 (21.5)	63 (22.9)	6 (25.0)	88 (35.1)	94 (34.2)	8 (33.3)	84 (33.5)	92 (33.5)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
P.T.Aや授業参観などに出席した	-	20 (8.0)	20 (7.3)	5 (20.8)	52 (20.7)	57 (20.7)	10 (41.7)	79 (31.5)	89 (32.4)	3 (37.5)	100 (39.6)	109 (39.6)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
困ったときに相談にのってくれた	-	17 (6.8)	17 (6.2)	3 (12.5)	46 (18.3)	49 (17.8)	13 (54.2)	105 (41.8)	118 (42.9)	8 (33.3)	83 (33.1)	91 (33.1)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)

表6 学童期の父子関係

(%)

答	そう思った			あまりそう思わなかった			全くそう思わなかった			わからない			N. A.			合計		
	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計
父親はあなたのことを理解してくれていた	12 (50.0)	109 (43.8)	121 (44.8)	4 (16.7)	81 (32.5)	85 (31.1)	3 (12.5)	18 (7.2)	21 (7.7)	5 (20.8)	41 (16.5)	46 (16.8)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
父親に心配をかけたくなかった	10 (41.7)	114 (45.6)	124 (45.3)	6 (25.0)	82 (32.8)	88 (32.1)	1 (4.2)	25 (10.0)	26 (9.5)	7 (29.2)	29 (11.6)	36 (13.1)	-	3	3	24 (100)	253 (100)	277 (100)
働いている父親を偉いと思った	15 (62.5)	167 (66.3)	182 (66.9)	7 (29.2)	61 (24.2)	68 (24.6)	-	9 (3.6)	9 (3.3)	2 (8.3)	15 (6.0)	17 (6.2)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
父親には何でも話せた	2 (8.3)	25 (10.0)	27 (9.8)	13 (54.2)	117 (46.6)	130 (47.3)	6 (25.0)	88 (35.1)	94 (34.2)	3 (12.5)	21 (8.4)	24 (8.7)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
父親が家にいるとほっとした	8 (33.3)	88 (35.1)	96 (34.9)	9 (37.5)	105 (41.8)	114 (41.5)	2 (8.3)	33 (13.1)	35 (12.7)	5 (20.8)	25 (10.0)	30 (10.9)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
困ったとき父親は頼りになる感じだった	9 (37.5)	127 (50.8)	136 (49.6)	8 (33.3)	78 (30.0)	78 (28.5)	3 (12.5)	27 (10.8)	30 (10.9)	4 (16.7)	26 (10.4)	30 (10.9)	-	3	3	24 (100)	253 (100)	277 (100)
父親がそばにいると緊張した	5 (20.8)	35 (13.9)	40 (14.5)	9 (37.5)	88 (36.1)	97 (35.3)	8 (33.3)	116 (46.2)	124 (45.1)	2 (8.3)	12 (4.8)	14 (5.1)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)

表7 父親への期待—学童期における

(%)

答	非常に望んでいた			かなり望んでいた			あまり望んでいなかった			全然望んでいなかった			N. A.			合計		
	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計
一緒に夕食をとる	6 (26.1)	39 (15.8)	45 (16.7)	7 (30.4)	80 (32.4)	87 (32.2)	10 (43.5)	107 (43.3)	117 (43.3)	-	21 (8.5)	21 (7.8)	1	6	7	24 (100)	253 (100)	277 (100)
一緒に遊んでくれる	6 (25.0)	57 (23.1)	63 (23.2)	8 (33.3)	98 (39.7)	106 (39.1)	10 (41.7)	77 (31.2)	87 (32.1)	-	15 (6.1)	15 (5.5)	-	6	6	24 (100)	253 (100)	277 (100)
宿題など勉強をみてくれる	5 (20.8)	30 (12.1)	35 (12.9)	2 (8.3)	60 (24.3)	62 (22.9)	12 (50.0)	120 (48.6)	132 (48.7)	5 (20.8)	37 (15.0)	42 (15.5)	-	6	6	24 (100)	253 (100)	277 (100)
休日には家族と外出する	8 (33.3)	81 (33.1)	89 (33.1)	6 (25.0)	98 (38.7)	104 (38.7)	7 (41.7)	110 (44.5)	116 (44.6)	5 (20.8)	55 (22.4)	65 (24.2)	-	11	11	24 (100)	253 (100)	277 (100)
食事を作ってくれる	3 (12.5)	16 (6.5)	19 (7.0)	-	32 (13.0)	32 (11.9)	12 (50.0)	124 (50.4)	136 (50.4)	9 (37.5)	74 (30.1)	83 (30.7)	-	7	7	24 (100)	253 (100)	277 (100)
困ったとき相談にのってくれる	4 (16.7)	22 (8.9)	26 (9.6)	7 (29.2)	70 (28.4)	77 (28.4)	10 (41.7)	116 (46.5)	126 (46.5)	3 (12.5)	39 (15.8)	42 (15.5)	-	6	6	24 (100)	253 (100)	277 (100)
P.T.Aや授業参観に出席してくれる	4 (16.7)	23 (9.3)	27 (10.0)	4 (16.7)	57 (23.1)	61 (22.5)	11 (45.8)	110 (44.5)	120 (44.6)	5 (20.8)	57 (23.1)	62 (22.9)	-	6	6	24 (100)	253 (100)	277 (100)
社会の仕組みを教えてくれる	10 (41.7)	47 (19.2)	57 (21.2)	4 (16.7)	63 (25.7)	67 (24.9)	9 (37.5)	84 (34.3)	93 (34.6)	1 (4.2)	51 (20.8)	52 (19.3)	-	8	8	24 (100)	253 (100)	277 (100)
礼儀や習慣などを教えてくれる	8 (33.3)	32 (13.0)	40 (14.8)	4 (16.7)	82 (33.2)	86 (31.7)	10 (41.7)	92 (37.2)	102 (37.6)	2 (8.3)	41 (16.6)	43 (15.9)	-	6	6	24 (100)	253 (100)	277 (100)
本や玩具を買ってくれる	13 (54.2)	107 (43.3)	120 (44.3)	4 (16.7)	81 (32.8)	85 (31.4)	5 (20.8)	48 (19.4)	53 (19.6)	2 (8.3)	11 (4.5)	13 (4.8)	-	6	6	24 (100)	253 (100)	277 (100)

表8 父親のイメージ（現在）

( )%

答 イメージ	その通り			どちらともいえない			そうではない			N. A.			合計		
	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計
明るい	10 (41.7)	120 (47.6)	130 (47.1)	11 (45.8)	109 (43.3)	120 (43.5)	3 (12.5)	23 (9.1)	26 (9.4)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
厳しい	6 (25.0)	88 (34.9)	94 (34.1)	11 (45.8)	89 (35.3)	100 (36.2)	7 (29.2)	75 (29.8)	82 (29.7)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
やさしい	11 (45.8)	161 (63.9)	172 (62.3)	12 (50.0)	72 (28.6)	84 (37.4)	1 (4.2)	19 (7.5)	20 (7.2)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
頑固	12 (50.0)	146 (58.2)	158 (57.5)	8 (33.3)	66 (26.3)	74 (26.9)	4 (16.7)	39 (15.5)	43 (15.6)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
強い	10 (41.7)	109 (43.3)	119 (43.1)	11 (45.8)	114 (45.2)	125 (45.3)	3 (12.5)	29 (11.5)	32 (11.6)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
おおらか	10 (41.7)	84 (33.5)	94 (34.2)	7 (29.2)	103 (41.0)	110 (40.0)	7 (29.2)	64 (25.5)	71 (25.8)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
自己中心的	6 (25.0)	104 (41.6)	110 (40.1)	9 (37.5)	69 (27.6)	78 (28.5)	9 (37.5)	77 (30.8)	86 (31.4)	-	3	3	24 (100)	253 (100)	277 (100)
口うるさい	8 (33.3)	66 (26.3)	74 (26.9)	5 (20.8)	81 (32.3)	86 (31.3)	11 (45.8)	104 (41.4)	115 (41.8)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
だらしない	3 (12.5)	39 (15.5)	42 (15.3)	12 (50.0)	75 (29.9)	87 (31.6)	9 (37.5)	137 (54.6)	146 (53.1)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
努力家	12 (50.0)	151 (59.7)	163 (59.1)	10 (41.7)	84 (33.3)	94 (34.1)	2 (8.3)	17 (6.7)	19 (6.9)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
家族思い	14 (58.3)	156 (62.2)	170 (61.8)	10 (41.7)	78 (31.1)	88 (32.0)	-	17 (6.8)	17 (6.2)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
教育熱心	4 (16.7)	46 (18.3)	50 (18.2)	12 (50.0)	123 (49.0)	135 (49.1)	8 (33.3)	82 (32.7)	90 (32.7)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
楽道家	7 (29.2)	64 (25.4)	71 (25.7)	8 (33.3)	119 (47.2)	127 (46.0)	9 (37.5)	69 (27.4)	78 (28.3)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
いばっている	3 (12.5)	80 (31.7)	83 (30.1)	10 (41.7)	75 (29.8)	85 (30.8)	11 (45.8)	97 (38.5)	108 (37.1)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
頼りになる	9 (37.5)	138 (55.0)	147 (53.5)	11 (45.8)	87 (34.7)	98 (35.6)	4 (16.7)	26 (10.4)	30 (10.9)	-	2	2	24 (100)	253 (100)	277 (100)
尊敬できる	9 (37.5)	139 (55.2)	148 (53.6)	13 (54.2)	82 (32.5)	95 (34.4)	2 (8.3)	31 (12.3)	33 (12.0)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
人情にあつい	9 (37.5)	124 (49.2)	133 (48.2)	12 (50.0)	106 (42.1)	118 (42.8)	3 (12.5)	22 (8.7)	25 (9.1)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
頭がよい	9 (37.5)	126 (50.0)	135 (48.9)	15 (62.5)	102 (40.5)	117 (42.4)	-	24 (9.5)	24 (8.7)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
真面目	16 (66.7)	169 (67.1)	185 (67.0)	7 (29.2)	64 (25.4)	71 (25.7)	1 (4.2)	19 (7.5)	20 (7.2)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
男らしい	7 (29.2)	95 (37.7)	102 (37.0)	16 (66.7)	128 (50.8)	144 (52.2)	1 (4.2)	29 (11.5)	30 (10.9)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
仕事熱心	18 (75.0)	193 (76.6)	211 (76.4)	6 (25.0)	49 (19.4)	55 (19.9)	-	10 (4.0)	10 (3.6)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
相談しやすい	3 (12.5)	43 (17.1)	46 (16.7)	12 (50.0)	104 (41.3)	116 (42.0)	9 (37.5)	105 (41.7)	114 (41.2)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
ものわかりがよい	5 (20.8)	71 (28.2)	76 (27.5)	13 (54.2)	115 (45.6)	128 (46.4)	6 (25.0)	66 (26.2)	72 (26.1)	-	1	1	24 (100)	253 (100)	277 (100)
ユーモアがある	5 (20.8)	111 (44.0)	116 (42.0)	14 (58.3)	103 (40.9)	117 (42.4)	5 (20.8)	38 (15.1)	43 (15.6)	1	6	7	24 (100)	253 (100)	277 (100)

表9 父親への要求（学童期の子どもをもつ）

(%)

答 父親への 要求事項	父親がやるべき			どちらかといえば 父親がやるべき			父親はあまりやら なくてもよい			父親はやらなくて もよい			N. A.			合 計		
	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計	M	F	計
一緒に夕食をとる	12 (50.0)	130 (52.2)	142 (52.0)	9 (37.5)	92 (36.9)	101 (37.0)	3 (12.5)	25 (10.0)	28 (10.3)	-	2 (0.8)	2 (0.7)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
一緒に遊ぶ	9 (37.5)	134 (53.8)	143 (52.4)	13 (54.2)	102 (41.0)	115 (42.1)	1 (4.2)	12 (4.8)	13 (4.8)	1 (4.2)	1 (0.4)	2 (0.7)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
宿題など勉強をみる	4 (16.7)	65 (26.2)	69 (25.4)	5 (20.8)	115 (46.4)	120 (44.1)	11 (45.8)	61 (24.6)	72 (26.5)	4 (16.7)	7 (2.8)	11 (4.0)	-	5	5	24 (100)	253 (100)	277 (100)
休日には家族と外出 する	9 (37.5)	139 (55.8)	148 (54.2)	13 (54.2)	105 (42.2)	118 (43.2)	2 (8.3)	5 (2.0)	7 (2.6)	-	-	-	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
食事を作る	2 (8.3)	11 (4.4)	13 (4.8)	3 (12.5)	27 (10.8)	30 (11.0)	11 (45.8)	166 (64.8)	177 (64.8)	8 (33.3)	45 (18.1)	53 (19.4)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
困ったとき相談にの ってやる	14 (58.3)	73 (29.9)	87 (32.5)	7 (29.2)	101 (41.4)	108 (40.3)	2 (8.3)	65 (26.6)	67 (26.0)	1 (4.2)	5 (2.0)	6 (2.2)	-	9	9	24 (100)	253 (100)	277 (100)
P.T.Aや授業参観に 出席する	3 (12.5)	33 (13.3)	36 (13.2)	5 (20.8)	76 (30.5)	81 (29.7)	14 (58.3)	116 (46.6)	130 (47.6)	2 (8.3)	24 (9.6)	26 (9.5)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
社会の仕組みを教え る	14 (58.3)	126 (50.6)	140 (51.3)	8 (33.3)	98 (39.4)	106 (38.8)	2 (8.3)	21 (8.4)	23 (8.4)	-	4 (1.6)	4 (1.5)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
礼儀や習慣などを教え る	10 (41.7)	83 (33.3)	93 (34.1)	12 (50.0)	108 (43.4)	120 (44.0)	2 (8.3)	53 (21.3)	55 (20.1)	-	5 (2.0)	5 (1.8)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)
本や玩具などを買っ て与える	3 (12.5)	54 (21.7)	57 (20.9)	12 (50.0)	119 (47.8)	131 (48.0)	6 (25.0)	72 (28.9)	78 (28.6)	3 (12.5)	4 (1.6)	7 (2.6)	-	4	4	24 (100)	253 (100)	277 (100)

Abstract

Study on Paternal Role on Infant Rearing

Taneaki Takahashi, Akira Takano,  
Kaname Komiyama, Ryuuko Kubo,  
Katsuko Niwa

Recently, it is said paternal role on infant rearing rapidly are expecting much.

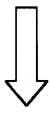
we tried to study with object of clearing the paternal role on infant rearing.

As the study for this year we made a survey through questionnaire of pregnant women and her husbands, college students, and fathers who have kindergarten pupils.

A survey on pregnant women and her husbands aids to clear how husband's understanding and the awareness about wife during the period pregnancy. To college students, to clear how the relationship between the two their childhood exerts an influence on the fatherly image today. We, moreover, made a survey how father's infant rearing have an effect on infant's behavior and personality to father who has kindergarten pupils.

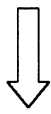
As the result, it was found that the awareness of growing up into parents had a great difference between wife and husband, and that college students had hardly communication with father from their childhood, consequently no expectation help of him as today.





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 最近父親が育児に果す役割は急激に増大している。しかし、父親がどのような形でその役割を果せばよいか、については明らかにされていない。本研究はそうした混乱期にある子どもの養育に父親が果すべき役割について明らかにすることを目的としたものである。今年度は、妊娠中の時期の父母に対する質問紙調査と、男女大学生に対する質問紙調査を実施すると同時に、幼稚園児をもつ父親に対する質問紙調査を計画し、その一部を実施した。妊娠中の時期の天婦に対する調査は、父親となる男性がどのような気持と意識で、妊娠という事実を受とめているか、を明らかにしようとするものであり、男女大学生を対象とした調査は、子どもの頃の父子関係が、現在の父親に対するイメージにどのように影響しているか、を明らかにしようとするものである。又、幼稚園児の父親に対する調査は、父親の育児への参加が子どもの行動傾向にどのように関連をもつかをみようとするものである。現在までに判明した事は、子どもの親になる、という事に対する意識には、夫と妻の間に大きな違いがある事と、現在の青年達の子どもの頃には、父親との接触が少なく、父親への期待も現在のように大きいものではなかった、という事である。